

平成 27 年 2 月 20 日

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
国立大学法人 金 沢 大 学
国立大学法人 東 京 工 業 大 学
国立大学法人 福 井 大 学
国立大学法人 茨 城 大 学
国立大学法人 岡 山 大 学
国立大学法人 大 阪 大 学
国立大学法人 名 古 屋 大 学

「原子力分野における大学連携ネットワークに関する協定」の締結について(お知らせ)

独立行政法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という）と国立大学法人金沢大学（以下「金沢大学」という）、国立大学法人東京工業大学（以下「東京工業大学」という）、国立大学法人福井大学（以下「福井大学」という）、国立大学法人茨城大学（以下「茨城大学」という）、国立大学法人岡山大学（以下「岡山大学」という）、国立大学法人大阪大学（以下「大阪大学」という）及び国立大学法人名古屋大学（以下「名古屋大学」という）は、平成 27 年 2 月 20 日付で「原子力分野における大学連携ネットワークに関する協定」を締結しましたのでお知らせします。

今回の協定締結は、平成 21 年 3 月 27 日付けで締結した「原子力機構と金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学及び大阪大学との原子力教育大学連携ネットワークに関する協定」に名古屋大学が加わるため、新たに締結したものです。

今回の協定では、連携協力推進協議会や連携教育カリキュラムを始めとするこれまでの活動実績を踏まえ、名古屋大学を加えた連合体による原子力分野における教育を継続するとともに、更に、今後、受講大学等の参画拡大が可能となるよう、本協定下において連携が容易に実施できるよう謳っています。

これまでの連携協力活動は、平成 17 年度から原子力機構、金沢大学、東京工業大学及び福井大学で開始し、平成 20 年度には茨城大学及び岡山大学、また、平成 21 年度には大阪大学が加わり、順次、参画大学が拡大してきました。

また、連携教育カリキュラムは、大学現地にて同時に受講できるインターネットを用いた遠隔教育システムを活用する共通講座（受講生数累計 1560 名）、岡山大学及び福井大学に講師や学生が一堂に会して実施する集中講座（受講生数累計 195 名）、更に、原子力機構における学生実習（受講生数累計 160 名）を実施する等、充実化してきました。

今回、新たに名古屋大学が参画することで、原子力分野のより広範囲な専門家による人材の育成に大きく寄与するとともに、今後、本ネットワーク活動の発展に伴い、より一層の原子力教育の充実化、本ネットワーク参画大学間のプログラム実施や情報交流等が期待されます。

【添付資料】

- 「原子力分野における大学連携ネットワークに関する協定」の概要
- 原子力分野における大学連携ネットワークの主な活動

「原子力分野における大学連携ネットワークに関する協定」の概要

原子力機構と金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学、大阪大学及び名古屋大学(7 大学)とは原子力分野における大学連携ネットワークに関する協定を平成 27 年 2 月 20 日に締結しました。

1. 本協定の目的

本協定は、原子力機構及び大学(以下「構成機関」という)が緊密な連携協力により、学術及び科学技術の発展に寄与するための教育研究並びに人材育成の一層の充実を図り、原子力分野の教育連携を推進することを目的としています。

2. 原子力分野における大学連携ネットワークの活動

- (1) 連携協力を推進するための協議に関すること
- (2) 相互に合意した連携教育カリキュラムの実施に関すること
- (3) 連携教育カリキュラム等の実施に伴う施設及び設備の相互利用に関すること
- (4) 他機関との連携協力に関すること

3. 連携協力推進協議会等の設置

原子力分野における大学連携ネットワークの活動を円滑に推進するため、連携協力推進協議会及び企画調整分科会を設置し、円滑な協議体制を整えます。

4. 他機関との連携協力

連携教育カリキュラムを他機関の学生等に受講させる場合は、連携協力推進協議会での承認を経て、書面を取り交わした上で実施できるよう、参画拡大に向けた配慮事項を設けています。

以 上

原子力分野における大学連携ネットワークの主な活動

(概要)

原子力機構と金沢大学、東京工業大学、福井大学、茨城大学、岡山大学及び大阪大学の6大学とは、原子力分野の人材育成を推進するために、ネットワークを構築し、遠隔システムを活用した共通講座の実施、岡山大学及び福井大学で一堂に会して実施する集中講座、また、原子力機構の施設、設備を利用した学生実習プログラム等を実施しています。これに新たに名古屋大学が参画し、7大学と原子力機構の8機関で推進するものです。

(協議)

原子力分野における大学連携ネットワークでは、参画大学と原子力機構の緊密な連携協力を図るため、年度計画決定や実績のレビューを行う連携協力推進協議会、更に企画調整分科会を適宜開催することにより、協議を円滑に推進していきます。

(連携教育カリキュラムの実施)

- ・共通講座:遠隔教育システムを活用したライブ講義形式(期間中毎週金曜日午後開催)
前期科目4月～7月:原子力工学基礎(Ⅰ):放射線・原子核に係る科目
後期科目10月～1月:原子力工学基礎(Ⅱ):核燃料サイクルに係る科目
- ・集中講座:講師、学生が一堂に会して約一週間集中的に開催
岡山大学科目:環境と人間活動:8月頃
福井大学科目:原子力の安全性と地域共生:9月頃
- ・学生実習:原子力機構において放射線計測、核燃料サイクル技術に係る実習:8月頃

以上の取り組みは、参画大学の特徴や原子力機構の施設や人材を相互補完的に最大限活用し、原子力分野の専門知識や能力を有する人材の育成に大きく寄与するとともに、今後ネットワークの強化による原子力教育の充実化やネットワーク参画大学間の交流等が期待されます。

原子力分野における大学連携ネットワーク活動イメージ

